

平成24年 第2回大分大学技術セミナー 福祉機器関連 報告

大分大学産学官連携推進機構 溝口

1. はじめに

大分大学における福祉機器関連の研究者及び産学官連携の状況を深めて頂く事を目的に技術セミナーを開催した。

期日： 平成24年10月25日（木）



15:30～17:30 研究室訪問

17:30～18:30 意見交換会・名刺交換会

参加：企業参加者 22名、公的機関者 14名、
大学関係者 9名

総参加者 45名

2. 研究室見学

1) 今戸研究室



- ・ 腰部負担軽減具の開発
- ・ ベルトバックルの開発（理論的な解明済）
- ・ 下肢ストレッチ補助装置
- ・ ベッドから移動車椅子（自動停止装置）
- ・ 前進のみ三輪車（摩擦式フリーホイール装置）
- ・ 等々
- * 下肢ストレッチ補助装置
- * 前進のみ三輪車

2) 上見研究室



- ・ 発声補助装置の開発と音声の自然性に関する研究状況
- ・ 感覚機能の計測技術
- ・ 障害者用装置入力デバイス

3) 池内研究室



- ・ 人間の歩行の力学的特性の計測（歩行訓練装置）
- ・ ナビ付き歩行補助車

4) 長研究室



- ・ 高純度溶解法による高強度、高弾性機能材料の創製
- ・ 抵抗値制御方式による形状記憶合金アクチュエーターの開発
（生体材料のガイドワイヤー、ばね等々）

5) 前田研究室



- ・ 衝突現象の人体への影響
- ・ 振動の少ないテニスラケットの開発
（球筋とラケットの移動方法）
- ・ ラケットの振動吸収の方法開発
- ・ バレーボールのスポーツ選手の動作解析

3. 意見交換会

医学部 産学官連携推進委員 穴井先生も参加され、見学した各研究室の先生方と企業人との意見交換が約1時間に渡り活発に行われた。



*主な質疑応答

- ① 形状記憶合金への関心が高く、用途についての質問が沢山あった。
- ② 先生方の研究はどのようなニーズ・シーズから開始されたのか。
- ③ 新規なテーマを持ち込むので共同研究をお願いしたい。

今回初参加の日本文理大学医療専門学校 校長のご意見や県産業集積室の取組などがあり、活発な意見交換会を実施することが出来た。